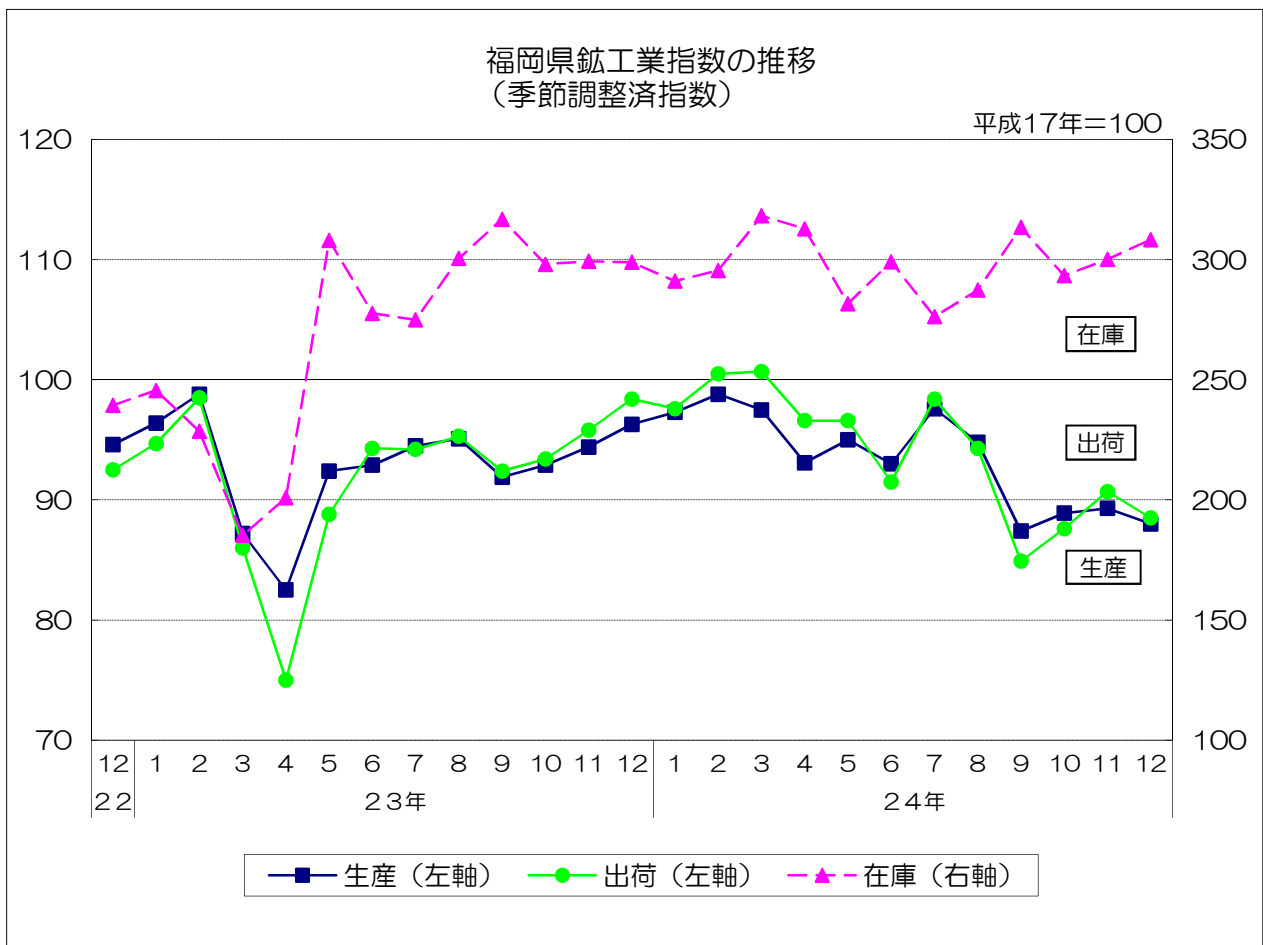


平成17年基準

福岡県鋳工業指数月報

(平成24年12月)



平成24年12月の鉱工業指数

概 況

○ 平成24年12月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比1.5%低下の88.0、出荷が同2.4%低下の88.5、在庫が同2.7%上昇の308.4となった。

(1) 生産

季節調整済指数 : 88.0で前月比1.5%低下 (3か月ぶりの低下)
原指数 : 90.3で前年同月比8.6%低下 (5か月連続の低下)

(2) 出荷

季節調整済指数 : 88.5で前月比2.4%低下 (3か月ぶりの低下)
原指数 : 91.5で前年同月比10.1%低下 (5か月連続の低下)

(3) 在庫

季節調整済指数 : 308.4で前月比2.7%上昇 (2か月連続の上昇)
原指数 : 294.2で前年同月比3.2%上昇 (2か月連続の上昇)

○ 前月比（季節調整済）

	[上昇]	[横ばい]	[低下]
生産（18業種中）	2業種	1業種	15業種
出荷（18業種中）	4業種	0業種	14業種
在庫（18業種中）	6業種	0業種	12業種

(1) 九州・全国との比較

（平成17年＝100）

		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比%		前年同月比%
福岡県	生産	88.0	▲ 1.5	90.3	▲ 8.6
	出荷	88.5	▲ 2.4	91.5	▲ 10.1
	在庫	308.4	2.7	294.2	3.2
九州	生産	102.7	2.2	102.4	▲ 5.4
	出荷	107.3	7.2	106.4	▲ 6.7
	在庫	132.6	▲ 3.2	132.6	2.8
全国	生産	88.8	2.4	87.7	▲ 7.9
	出荷	90.3	4.0	91.0	▲ 7.5
	在庫	105.1	▲ 1.2	103.8	3.5

(2) 前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
化学工業 一般機械工業	金属製品工業 電気機械工業 輸送機械工業 非鉄金属工業 食料品・たばこ工業 プラスチック製品工業 ゴム製品工業 木材・木製品工業 鉄鋼業 パルプ・紙・紙加工業 電子部品・デバイス工業 繊維工業 鉱業 窯業・土石製品工業 石油・石炭製品工業

四半期別指数の動向

平成24年 10～12月期の概況

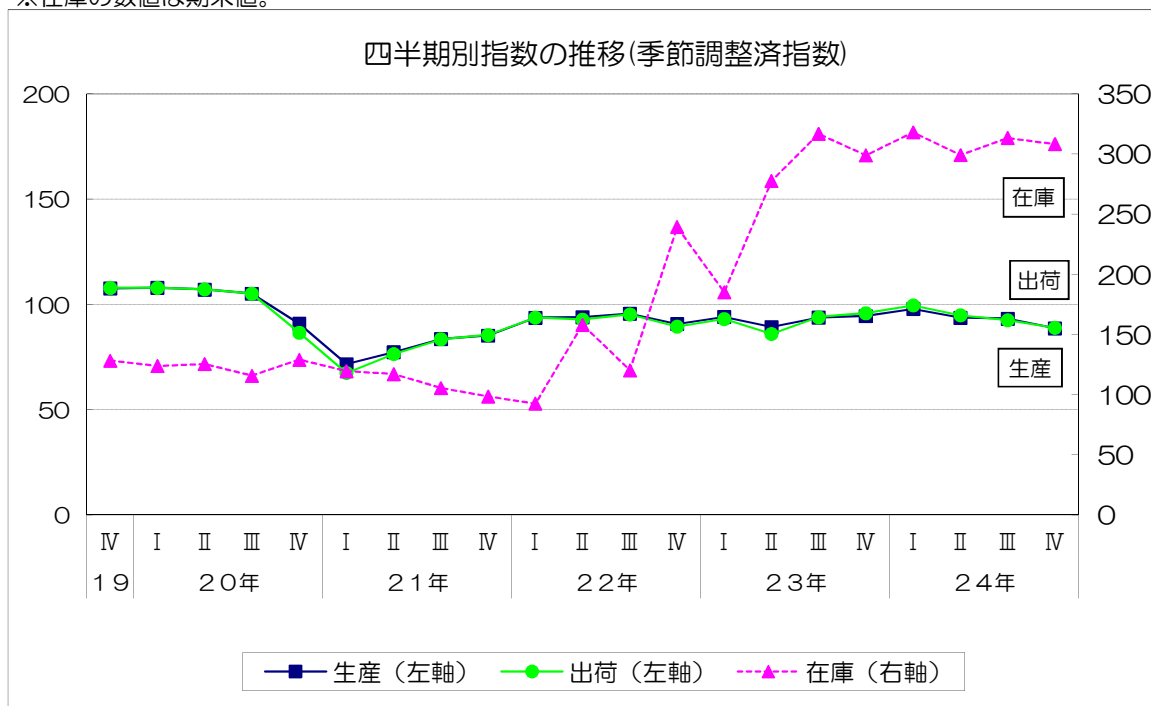
○ 今期の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前期比4.9%低下、出荷が同3.9%低下、在庫が同1.6%低下となった。

- (1) 生産
 - 季節調整済指数 : 88.7で前期比4.9%低下 (3期連続の低下)
 - 原指数 : 92.0で前年同期比6.1%低下 (2期連続の低下)
- (2) 出荷
 - 季節調整済指数 : 88.9で前期比3.9%低下 (3期連続の低下)
 - 原指数 : 92.8で前年同期比7.2%低下 (2期連続の低下)
- (3) 在庫
 - 季節調整済指数 : 308.4で前期比1.6%低下 (2期ぶりの低下)
 - 原指数 : 294.2で前年同期比3.2%上昇 (2期ぶりの上昇)

平成17年=100

		生 産		出 荷		在 庫	
		季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)	季節調整済指数	前期比 (%)
23年	10～12月期	94.5	0.7	95.9	2.0	299.0	▲5.6
	1～3月期	97.9	3.6	99.6	3.9	318.3	6.5
	4～6月期	93.7	▲4.3	94.9	▲4.7	299.2	▲6.0
	7～9月期	93.3	▲0.4	92.5	▲2.5	313.5	4.8
	10～12月期	88.7	▲4.9	88.9	▲3.9	308.4	▲1.6
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
24年	10～12月期	98.0	3.9	100.0	7.4	285.2	25.3
	1～3月期	94.9	4.2	95.6	7.4	289.9	71.7
	4～6月期	90.4	4.9	91.0	9.9	324.5	7.7
	7～9月期	95.8	▲0.6	95.8	▲1.6	295.2	▲1.1
	10～12月期	92.0	▲6.1	92.8	▲7.2	294.2	3.2

※在庫の数値は期末値。



全業種・主要9業種の動向
(24年12月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は88.0(季節調整済)となり、前月と比べると、化学工業、一般機械工業などが上昇したが、金属製品工業、電気機械工業などが低下したため、総合で前月比1.5%低下(前年同月比8.6%低下)となった。
- (2) 出荷指数は88.5(季節調整済)となり、前月と比べると、化学工業、鉄鋼業などが上昇したが、非鉄金属工業、電気機械工業などが低下したため、総合で前月比2.4%低下(前年同月比10.1%低下)となった。
- (3) 在庫指数は308.4(季節調整済)となり、前月と比べると、輸送機械工業、食料品・たばこ工業などが低下したが、電気機械工業、窯業・土石製品工業などが上昇したため、総合で前月比2.7%上昇(前年同月比3.2%上昇)となった。

○ 主要9業種の動向

[生産]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲0.8	▲1.7	粗鋼、鋼半製品、形鋼等
金属製品	▲7.5	4.9	鉄構物、鉄骨、ガス湯沸器等
一般機械	9.5	▲3.6	クレーン、自動立体倉庫装置、半導体製造装置等
電気機械	▲11.3	▲19.5	電力変換装置、開閉制御装置、変圧器等
電子・デバイス	▲2.1	▲56.5	トランジスタ、計数回路、線形回路等
輸送機械	▲1.2	▲17.5	小型自動車、自動車部品等
窯業・土石製品	▲0.1	▲5.3	耐火れんが、生コンクリート、遠心力鉄筋コンクリート製品等
化学	14.8	0.3	医薬品、ポリカーボネート、複合肥料等
食料品・たばこ	▲1.3	2.4	固型カレー、枝肉、めん類等
総合	▲1.5	▲8.6	—

[出荷]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	6.1	2.0	特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材、鋼帯等
金属製品	▲3.5	2.1	鉄構物、鉄骨、スチール又はステンレスシャッター等
一般機械	1.1	▲5.9	クレーン、自動車立体倉庫装置、半導体製造装置等
電気機械	▲13.0	▲18.9	電力変換装置、開閉制御装置、変圧器等
電子・デバイス	▲5.7	▲56.1	トランジスタ、計数回路、シリコンダイオード等
輸送機械	▲0.6	▲17.9	小型自動車、自動車部品等
窯業・土石製品	▲5.4	▲2.5	耐火れんが、生コンクリート、ほうろう鉄器等
化学	16.2	10.9	医薬品、ポリカーボネート、触媒等
食料品・たばこ	▲3.2	0.8	枝肉、ビール、固型カレー等
総合	▲2.4	▲10.1	—

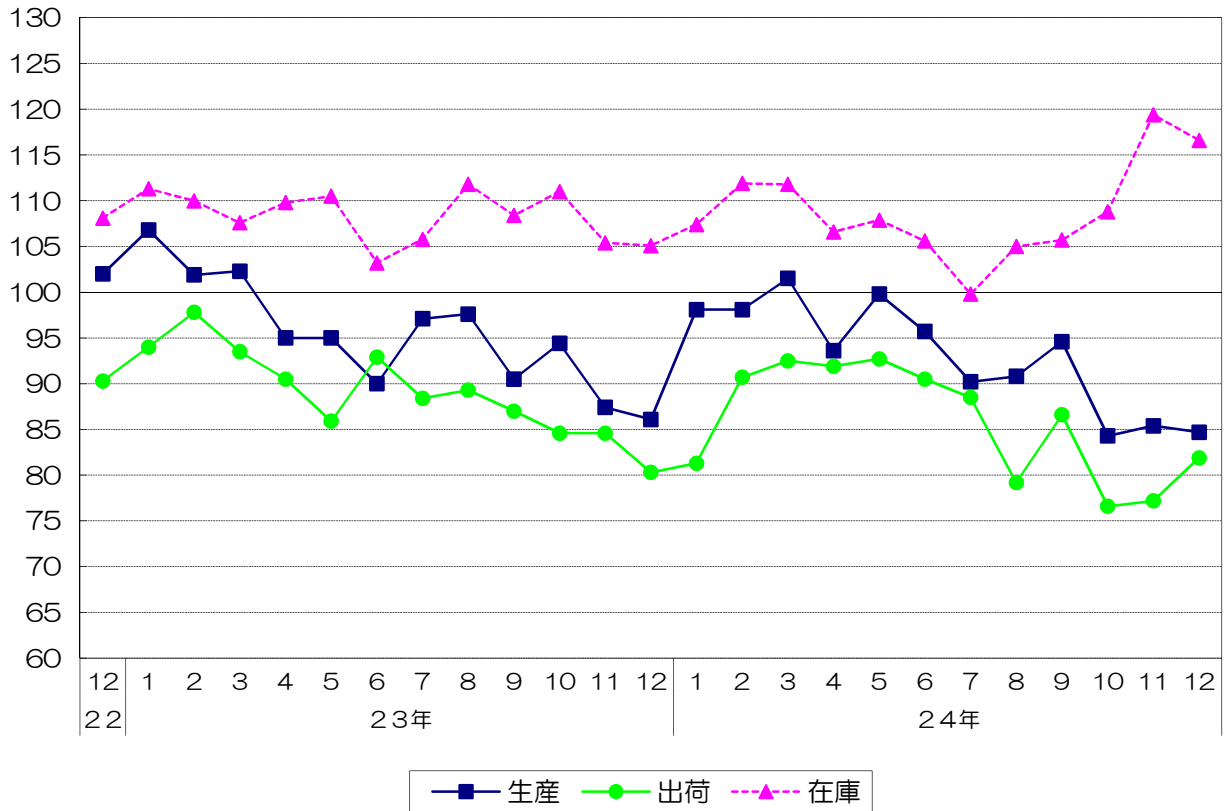
[在庫]

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄鋼	▲2.3	11.0	特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材、軌条等
金属製品	▲2.0	40.1	金網
一般機械	▲5.0	88.9	ポンプ
電気機械	19.6	6.6	電力量計、電気ホイスト
電子・デバイス	▲49.6	-	計数回路
輸送機械	▲0.2	2.2	小型自動車
窯業・土石製品	3.3	▲6.3	道路用コンクリート製品、セメント、ボード(せっこうボード)等
化学	▲2.5	▲10.6	ビスフェノールA、触媒、ジフェニルメタンジイソシアネート等
食料品・たばこ	▲3.4	5.1	焼酎、小麦粉等
総合	2.7	3.2	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

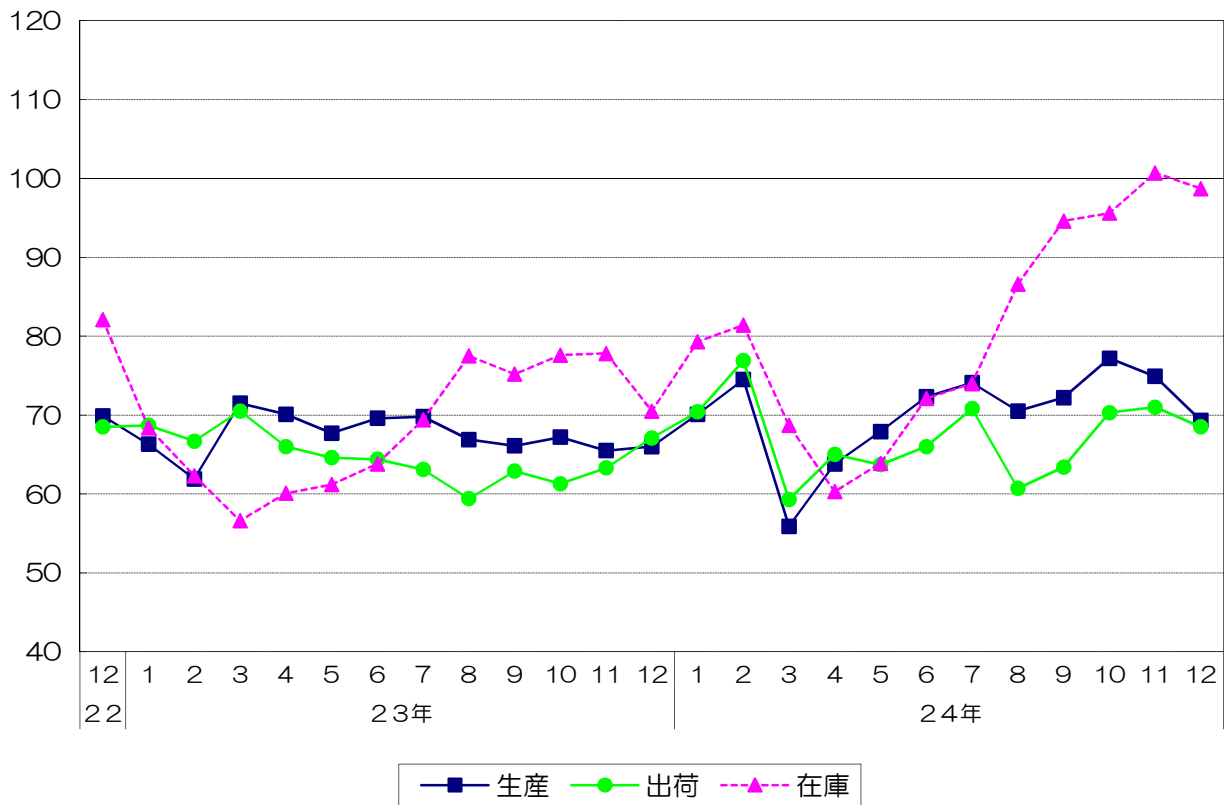
鉄鋼業 (季節調整済指数)

平成17年=100



金属製品工業 (季節調整済指数)

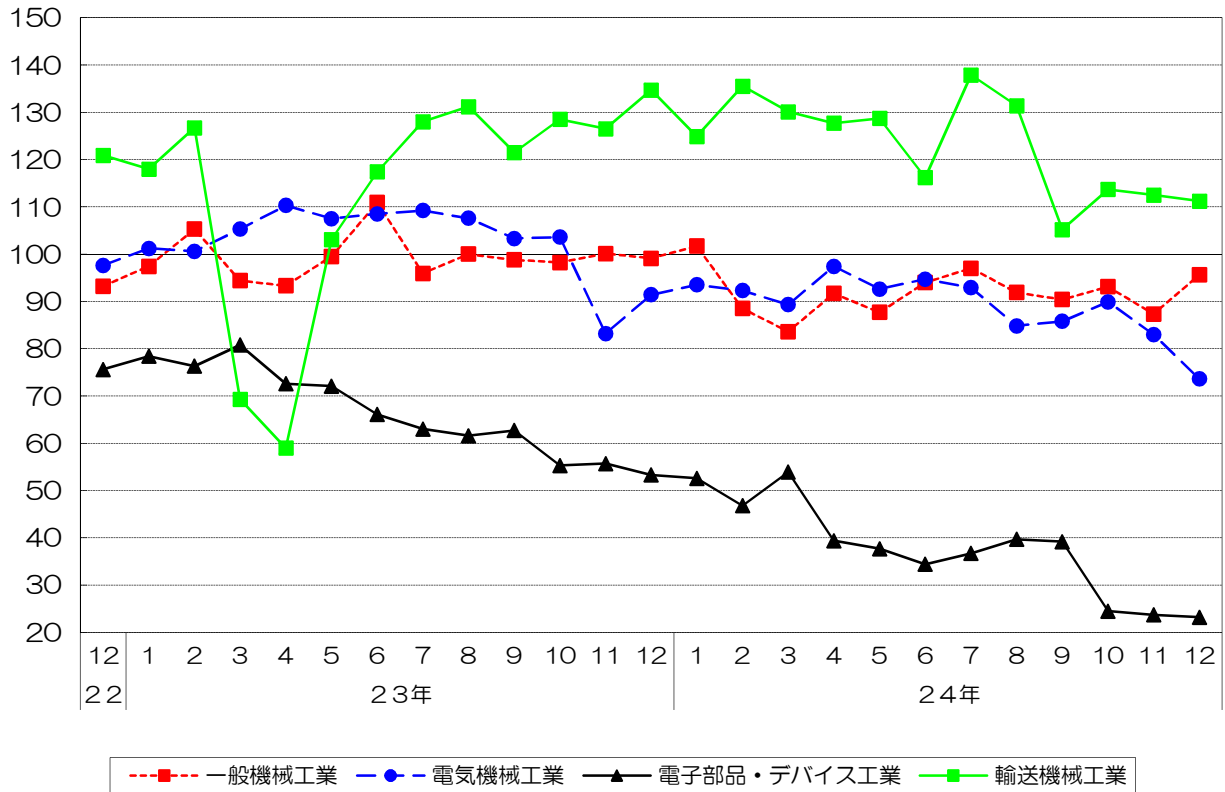
平成17年=100



機械工業（季節調整済指数）

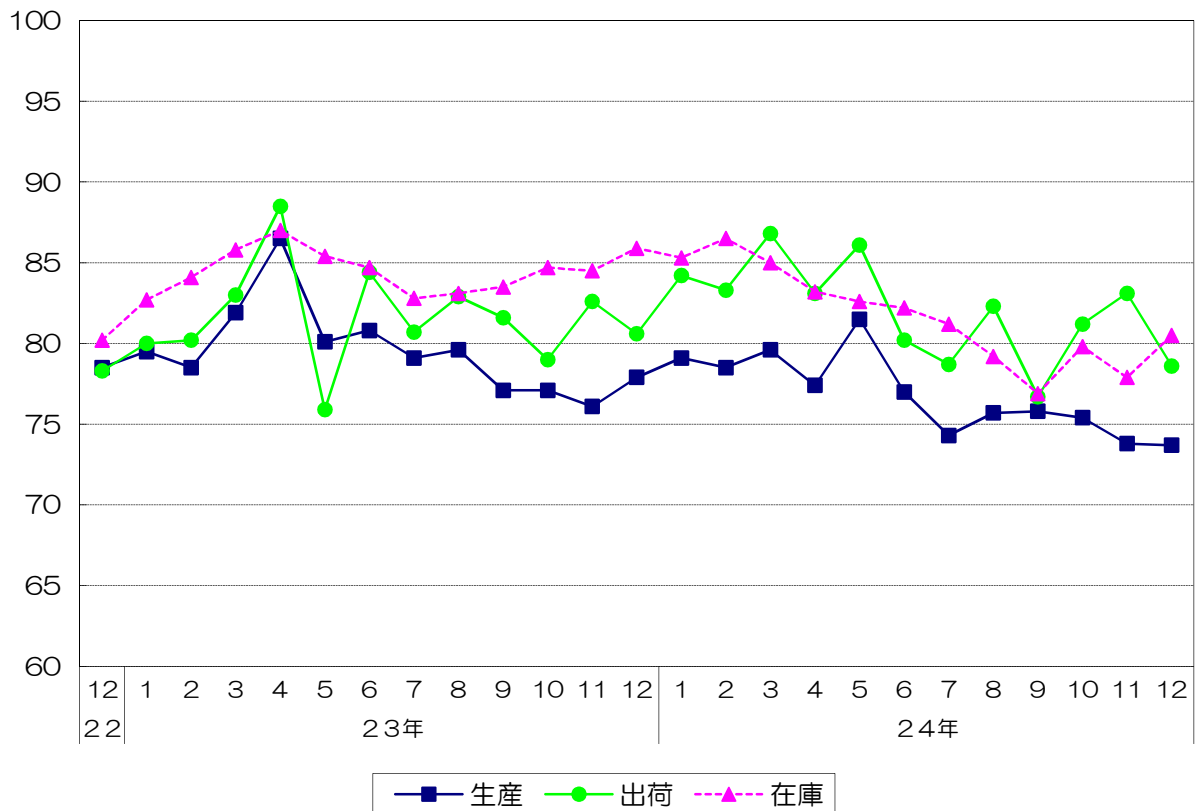
*生産指数のみ。

平成17年=100



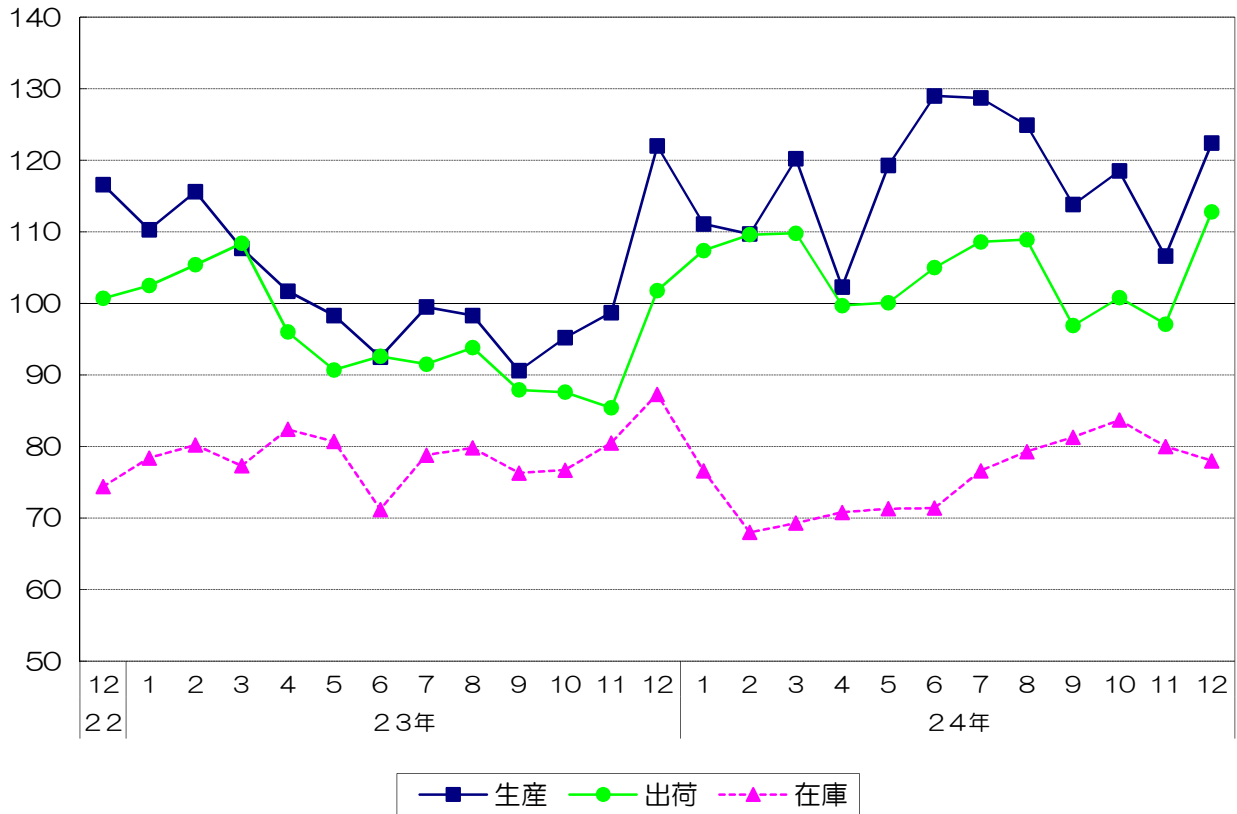
窯業・土石製品工業（季節調整済指数）

平成17年=100



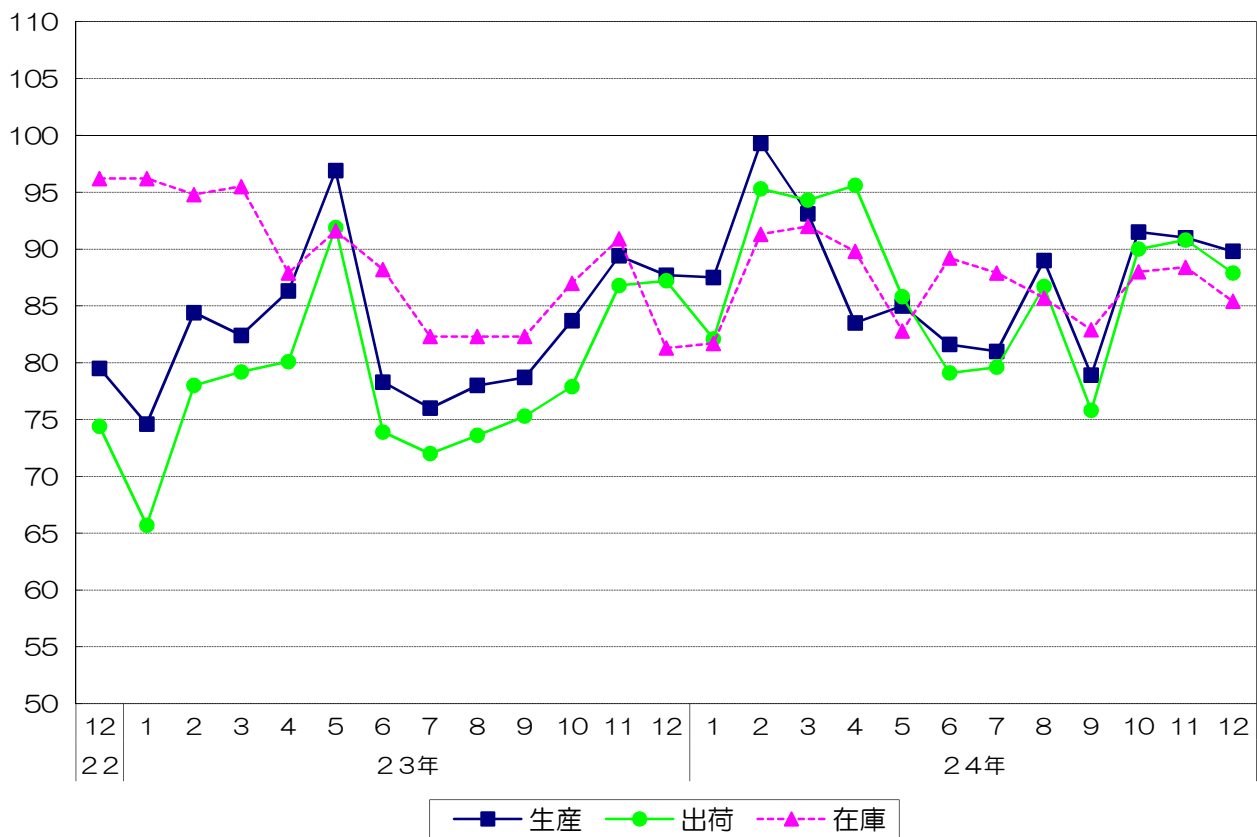
化学工業 (季節調整済指数)

平成17年=100



食料品・たばこ工業 (季節調整済指数)

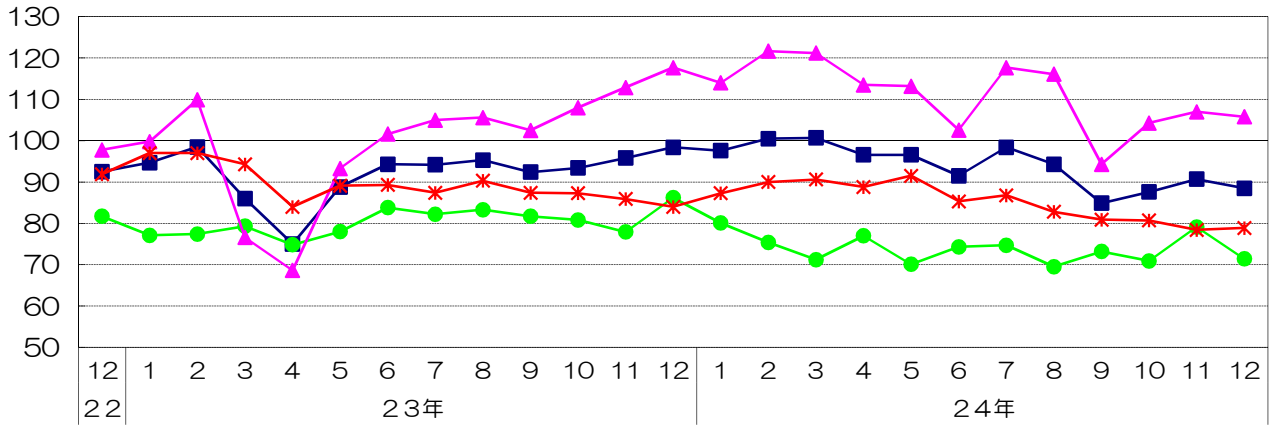
平成17年=100



福岡県鉱工業出荷指数財別の推移（季節調整済指数）

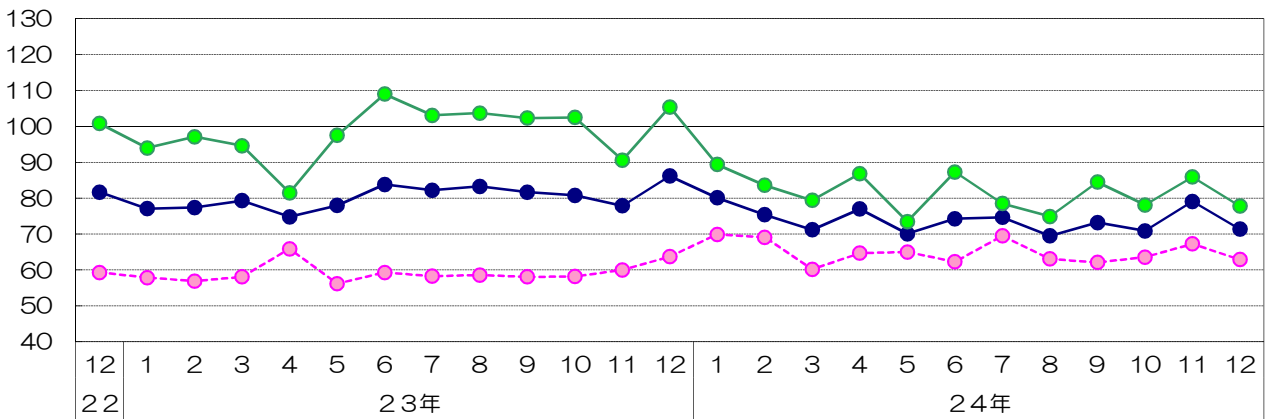
鉱工業総合

平成17年=100



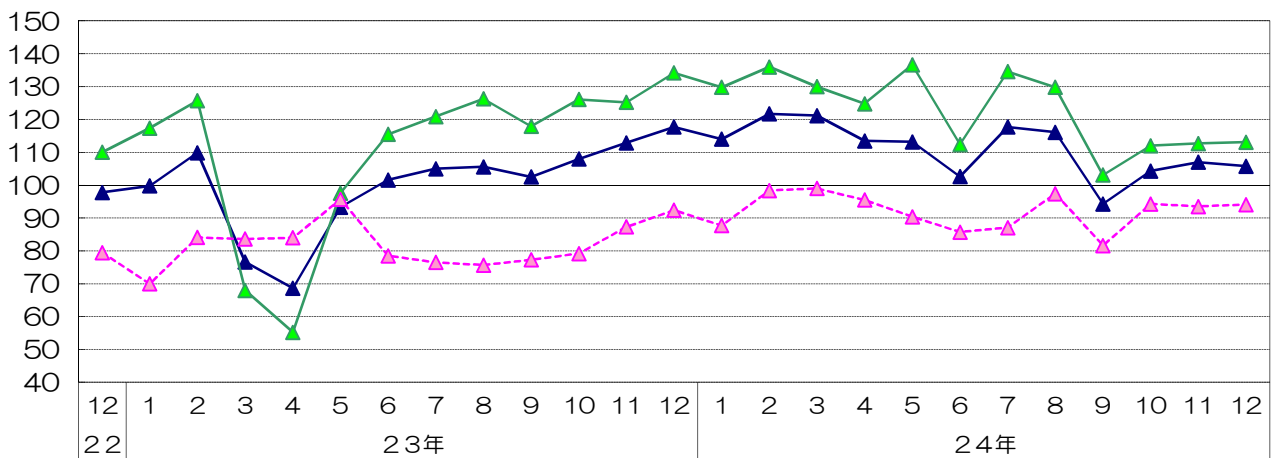
■ 鉱工業総合 ● 投資財 ▲ 消費財 * 生産財

投資財



● 投資財 ● 資本財 ● 建設財

消費財



▲ 消費財 ▲ 耐久消費財 ▲ 非耐久消費財